

減災の「心・技・体」… 次の巨大災害に備えて



●公益財団法人
ひょうご震災記念21世紀研究機構
副理事長 室崎 益輝

わが国の武道の世界では、真の強者の条件として「心・技・体」が必要だとよく言われる。私は、防災や減災の世界でも同じだと思っている。阪神・淡路大震災の教訓が、この心技体という3文字に見事に集約されているのだ。心というのは、精神や意識をいう。技というのは、科学や技能をいう。体というのは、武道では体格や体力をいうが、減災では体質や体制をいう。

心技体と減災との関わりを、子どもが川に転落して溺れかかっている状況に即して、説明しておこう。まず、飛び込んで助けようとする「心」がないと駄目である。命を大切に思う精神や困った人を助けようとする意識が、ここでは求められる。次に、飛び込んでも泳げなければ助けられないし、心肺蘇生法を知っていなければ助けられない。救助するための「技」がないと駄目なのである。最後に、みんなで力を合わせる絆やシステムという「体」がないと駄目である。飛びこむ人以外に、救急に連絡する人がいるし、自動車で搬送する人がいる。支え合うための共助の社会的なシステムがある、ということである。

さて、心を養うには、教育が欠かせない。学校教育だけでなく地域教育に力を入れる、知識だけでなく意識を育むことが求められる。技を磨くためには、訓練が欠かせない。基礎技能を鍛錬する訓練も必要だが、とっさの判断力や対応力を磨く訓練も必要である。みんなのできる訓練、楽しみながらできる訓練、どこでもできる訓練など、プログラムの開発が求められている。体を築くには、協働が欠かせない。地域の協働だけでなく、行政とコミュニティさらには企業などとの協働が求められる。そのための場や仕組みが必要で、日常的な顔の見える関係の構築に努めなければならない。

ということで、「心・技・体」を日常的な営みである、人づくり、しくみづくり、ことづくり、まちづくりの中で、豊かにしていかなければならない。人づくりは地域教育の実践、しくみづくりは防災組織の結成、ことづくりは防災行事の実施、まちづくりは減災環境の整備を、地域ぐるみで進めることである。阪神・淡路大震災の教訓は、「心・技・体を地域で育むこと」なのである。



総合防災訓練等の様子(自主防災組織・兵庫県防災士会等の関係団体の協力を得て実施)

災害に強い まちづくりに向けて

阪神・淡路大震災から20年の間、私たちは様々な取組みを進めてきました。

しかし、その間も東日本大震災をはじめとする災害がおこり、大きな被害がおきています。そして、私たちを襲う自然災害は地震ではありません。津波、豪雨や台風による水害、高潮、山崩れなど様々な災害の危険が私たちを取り巻いています。

行政・市民・地域団体・事業者において災害に対する備えが進められていますが、どの災害においても大切となるのは、一人ひとりが「自らの命は自らで守る」という意識を持つことです。

そして、いざという時は、それぞれが力を合わせる必要があります。阪神・淡路大震災を経験したまちとして、震災の教訓を引き継いでいくとともに、皆で力を合わせて災害に強いまちづくりを進めていきましょう。





瓦礫のまちで生き残ったからこそ。

私は西宮で被災し、実家を全焼しました。周りでうちだけが全員生き残りました。私には子供のころの写真は一枚も残っていません。だったら、あの恐怖も悲しみもいっしょに消えたらいいのにと思ってきました。

思い返しても何が返ってくるわけでもないし。

「震災の記憶」といえば、失ったことばかりを語りがちです。でも、私たちは水がなくても電気がつかなくても生きていました。近所付き合いなんてなかったけれど避難所で助け合いました。日ごろ頼りないと思っていた人があまりにできばき働くのでちょっと可笑しかったりしました。丈夫な靴と温かい服がひと揃えあればだいじょうぶだと思いました。大事にしていたモノでもなくなって困るモノなんてほとんどないと知りました。確かに、たまたま生きて残ったからこそ

言えることではあるけれど、あの逞しさをこそ「震災の記憶」として遺すべきだと思うのです。むしろ、たまたま生きて残ったからこそ。

西宮は、失ったことを悔やむばかりではなく、市民全員で復興した矜恃と、全国からの篤い支援への感謝を記憶に遺すべきです。死者を弔うことは必要でも、それより必要なのは自分がいまここに生きていることへの感謝です。そして、将来に予想される災害に備える意識を高めるべきです。

20年前の私は、被災地で奮闘する公務員のすがたに感銘を受け、政治の道を志しました。私たちは、これからも災害に強いまちづくりに取り組むことをここに誓います。市民のみなさまには格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本冊子の作成にあたり、ご協力を賜りましたみなさまにあらためてお礼申し上げます。

西宮市長
今村兵司

